

名取川水系渇水対策支部（注意体制）の解除

仙台河川国道事務所では、名取川水系広瀬川の流量の低下により6月6日9時に名取川水系渇水対策支部（注意体制）を設置し、河川流況の監視強化に努めるとともに、適正な取水管理や渇水時の迅速な対応ができるよう関係機関と情報共有を図ってきましたが、降雨により、広瀬川の流量が十分に回復したほか、大倉ダムにおいてこの時期の容量を十分に確保できたことから、当面の水利用及び河川環境に支障が無いものと判断し、本日9時00分に名取川水系渇水対策支部（注意体制）を解除しましたので、お知らせします。

<体制期間中（6/6～7/3）の対応>

- ◆ 瀬切れの発生の有無、魚類の斃死状況等を確認するため、河川巡視を強化
- ◆ 水質監視として、水質調査を実施
- ◆ 取水管理の徹底を再確認するとともに日々の取水量報告を実施
- ◆ 6月12日に開催した渇水情報連絡会を通じ、河川流量、ダム貯水状況及び取水状況に関する情報を共有

<河川の流量：7月 3日 9時現在>

- ◆ 広瀬川 広瀬橋地点
- ◆ 流量 3.81 m³/s （基準流量 1.0m³/s）

※ 流量については暫定値であり、確定値ではありません。

※ 「基準流量」とは、渇水対策支部設置基準となる流量で、直轄管理区間にある基準地点において定められており、渇水対策支部を設置する際の目安としております。

<大倉ダムの状況：7月 3日 9時現在>

- ◆ 貯水位 263.82m （洪水貯留準備水位263.35m）
- ◆ 貯水率 100.0%
- ◆ 流入量 3.47 m³/s

<事務所体制>

河川（渇水）	令和 5年 6月 6日（火）	9時00分	注意体制
	令和 5年 7月 3日（月）	9時00分	体制解除

記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問い合わせ先

名取川水系渇水情報連絡会

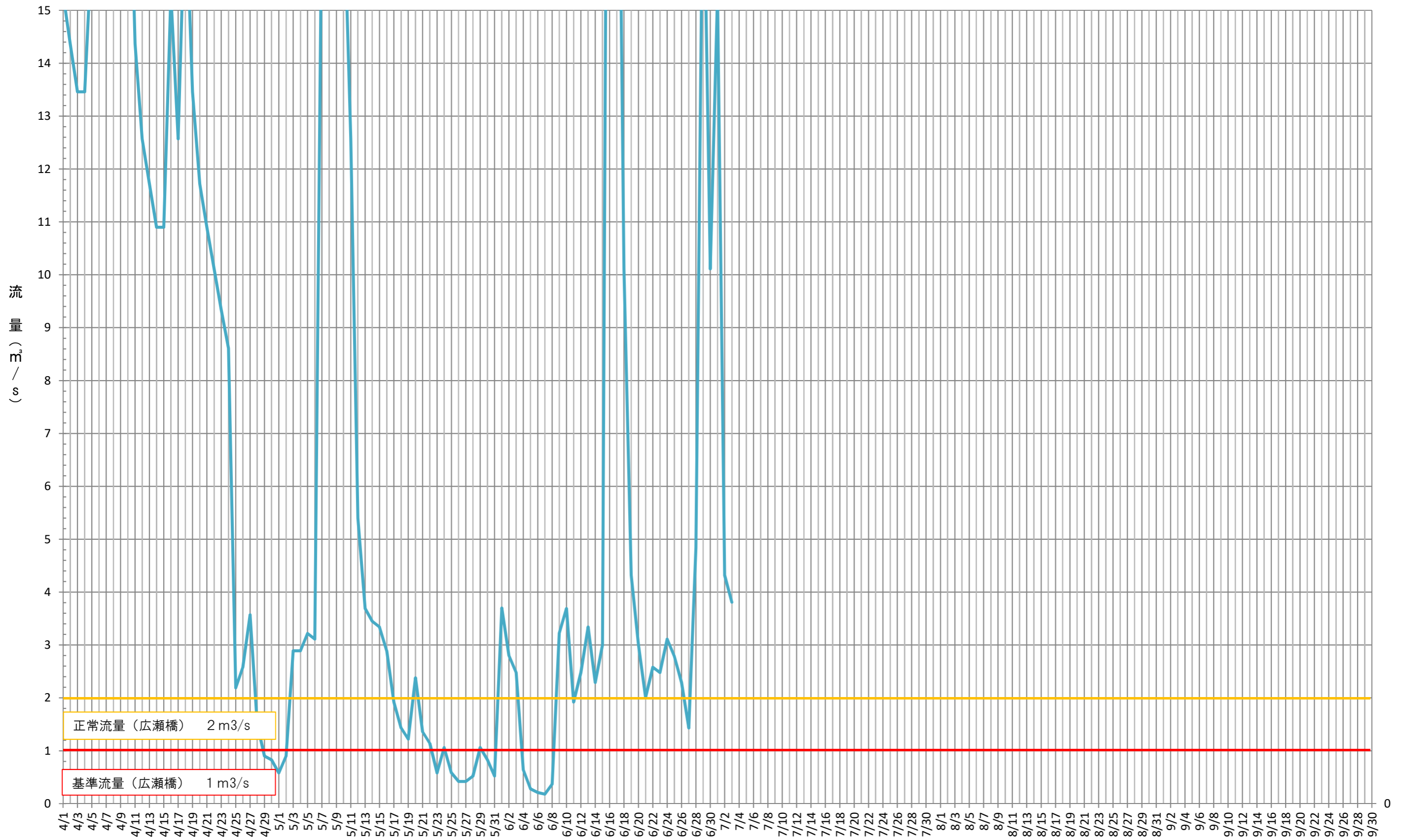
事務局 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
仙台市太白区あすと長町4丁目1番60号
電話 022-248-4131（代表）

副所長（河川担当） 金 真一郎（内線204）

河川管理課長 平山 清人（内線331）

2023年4月～9月の広瀬橋の流況グラフ（9時現在流量）

※広瀬橋水位観測所 流量については暫定値であり、確定値ではありません。





広瀬川下流の状況

(6月7日9:00頃)



流量: 0.18m³/s (暫定値)

(7月3日9:00頃)



流量: 3.81m³/s (暫定値)